

## シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健 I		授業の種類  ( 講義 ・ 演習 ・ 実習 )		授業担当者  水間宗幸 平川泰士
授業の回数  15回	時間数(単位数)  30時間(2単位)	配当学年・時期  2年1学期		必修・選択  選択
<p><b>【授業の目的・ねらい・到達目標】</b></p> <p>1. 精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。                  2. 精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について基礎的知識を備える。</p>				
<p><b>【授業計画】</b></p> <p>1 精神保健の概要(担当:水間)</p> <p>2 精神保健分野の動向と基本的考え方(担当:水間)</p> <p>3 社会構造の変化と新しい健康観(担当:水間)</p> <p>4 ストレスと精神の健康(担当:水間)</p> <p>5 家族およびライフサイクルと精神の健康(出生前～思春期)(担当:水間)</p> <p>6 家族およびライフサイクルと精神の健康(青年期～老年期)(担当:水間)</p> <p>7 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(担当:水間)</p> <p>8 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(担当:水間)</p> <p>9 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ①貧困、ホームレス、引きこもりと精神保健等(担当:水間)</p> <p>10 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ②異文化接触、LGBT、触法行為と精神保健等(担当:水間)</p> <p>11 精神保健に関する発生予防と対策①うつ病と自殺予防対策等</p> <p>12 精神保健に関する発生予防と対策②家族に関する子育て支援と虐待予防、引きこもり等</p> <p>13 地域精神保健に関する偏見・差別の課題(担当:水間)</p> <p>14 精神保健に関する専門職と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携(担当:平川)</p> <p>15 精神保健に関する国際的動向(担当:水間)</p>				
<p><b>【使用テキスト・参考文献】</b></p> <p>現代の精神保健の課題と支援 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集(中央法規)</p>			<p><b>【単位認定の方法及び基準】</b></p> <p>試験による評価(80%)およびミニレポート(30%)。なお希望者には個別に評価内容を伝える。</p>	